

平成 23 (2011) 年度 東北大学法科大学院入学試験

試験科目：刑事法（刑法）

【設問】

以下の【事例】に挙げられた事実を基礎として、X及びYの罪責について答えなさい。

【事例】

1 自動車好きのX（30歳・男性・未婚）は、新発売のA車（250万円相当）に興味をもち、甲自動車販売店（以下、甲店とする）でA車の試乗を申し出て、添乗員がいなければ、そのまま試乗車を乗り逃げする計画を立てた。Xは、夫婦で試乗を申し込んだほうが怪しまれないだろうと思い、友人のY（28歳・女性・未婚）に計画を打ち明け、「成功すれば、報酬として10万円支払うので、俺の奥さんのふりをして、一緒に甲店に行ってくれ。横にいてだけでいいから。」と頼んだところ、Yはそれを了承した。

2 平成21年6月22日午後2時ころ、Xは甲店に電話をかけ、応対に出た営業員Vに対し、「Bという者です。A車が欲しいので、お話ししたい。妻と一緒にいきます。」などと申し向けた。その後、Xは、Yと共に甲店に赴き、応対に出たVに対し、購入客を装って、「先ほどお電話したBです。A車の説明をして下さい。」「見積もりはどの位になりますか。」などと話をした後、Vに対し「ちょっと試乗してみたい。」と申し向けた。Vは、Xが購入目的で試乗をするものと誤信し、甲店に置いてあった試乗車（以下、本件試乗車とする）にXとYを乗車させ、「試乗は、お2人でどうぞ。ただし、午後4時までには、当店にお戻りください。」と言ったため、同日午後2時30分ころ、Xは、そのまま乗り逃げする意図のもとに、本件試乗車を甲店から発進させた。Yは、甲店を出た後、車内でXに対し、「うまくいったわね。10万円、ちゃんと払ってよ。」と言ったところ、Xは「分かってるよ。」と答え、本件試乗車で、YをY宅まで送った後、自宅に戻った。

なお、甲店でXとVがやり取りをしている間、Yは、Xの横にいて、その一部始終を見ていたが、何も発言をしなかった。Vは「無口な奥さんだな。」と思ったが、特に、不信の念を抱くことはなかった。

3 平成21年6月23日午前10時20分ころ、本件試乗車を乗り回していたXは、コンビニエンスストアの駐車場に車を止め、購入した缶コーヒーを飲みながら休息していたところ、隣にたまたま甲店の整備係C（35歳・男性）の乗った車が駐車した。Cは隣の車が、昨日乗り逃げされた試乗車ではないかと思い、事情を聞こうと思って、本件試乗車の運転席の窓を叩いて、Xに「聞きたいことがあるんだけど。」と言った。Xは、「甲店の社員かな。まずいことになった。逃げなければ。」と考え、自ら本件試乗車から降りると、いきなりCの顔面を右手拳で力いっぱい殴打した。Cが顔面をおさえようとしたのを見たXは、本件試乗車に再び乗り込み、同車を急発進させて、その場から立ち去った。Cは、上記の殴打により、全治3週間の打撲傷を負った。